

伊勢湾貧酸素情報（第 5 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

これまで、伊勢湾の底層に広く形成されていた 2 mg/L 以下の貧酸素水塊は、かなり縮小しており、今後、貧酸素状態は解消に向かうものと思われま

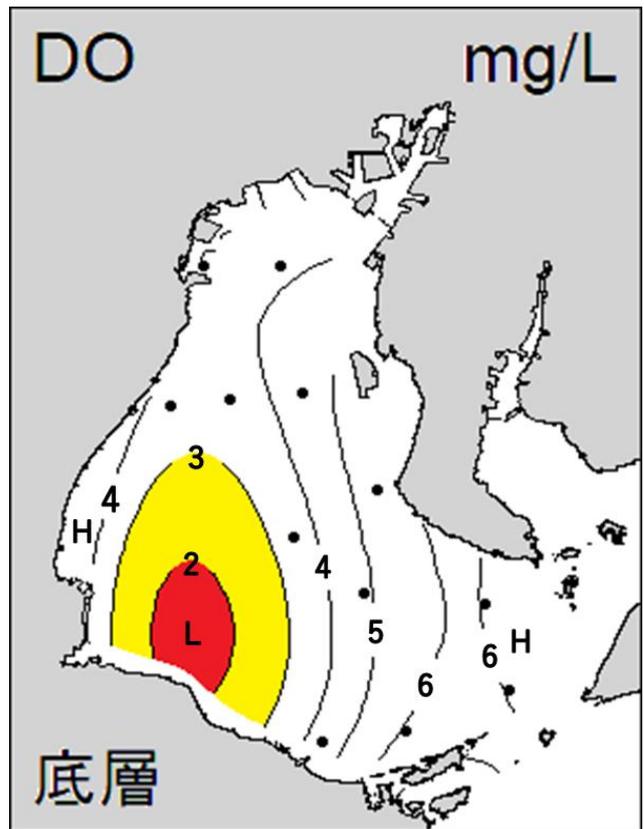
10月3日の調査結果

10月3日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 20.7～24.1℃、10m で 24.0～25.1℃、底層で 24.3～25.0℃の範囲にあり、表層は平年よりやや高め、10m と底層は平年より高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 5.3～10.3 mg/L、10m で 3.2～6.3mg/L、底層で 1.5～6.3 mg/L の範囲にあり、表層と 10m は平年よりやや低め、底層は平年よりやや高めとなっていました。

6月の観測時（6月7日）以来、伊勢湾の低層に広く形成されていた 2 mg/L 以下の貧酸素水塊は、かなり縮小しました。

伊勢湾では、今後海水の上下混合が起りやすい時期となるため、貧酸素状態は徐々に解消に向かうものと思われま



底層貧酸素水塊分布図